

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 保健衛生部生活衛生課食品衛生担当

問合せ先 03 - 5803 - 1228

1 補助金の名称等

3年度調査

補助金の名称	食中毒予防対策事業補助金							
根拠規定等	文京区食中毒予防対策事業補助金交付要綱							
創設年月	平成	17	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	16年	終了予定年月
見直し年月	令和		年		月	経過年数 〔自動計算〕		
見直しの内容								
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号		
	6 衛生費	1 保健衛生費	2 生活衛生事業費	1 食品衛生監視	1 食品衛生監視指導			
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給							

2 補助金の概要

補助目的	文京食品衛生協会(以下「協会」とする。)が自主的に実施する食中毒予防対策事業に対して補助金を交付することにより、文京区内の食中毒の予防対策を推進し、もって区民の公衆衛生向上に寄与することを目的とする。						
補助事業等の内容	協会が実施する協会の食中毒予防対策事業(協会の会員店舗の営業者等が自主検便を実施し、腸管出血性大腸菌O157、サルモネラ等の有無を確認する)に対し、補助する。						
補助対象経費の内容	協会が実施する自主検便事業要する経費の一部(検査機関が実施する検便検査にかかる経費や検便容器の配送料等)						
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 文京食品衛生協会						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 (補助率) <input type="checkbox"/> 定額 (補助額)						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕 実施実績に合わせた額で補助 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における用途の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (実績報告書)						
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独		負担割合	区	国	都	補助対象者
	<input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	1	1	1	1
決算(予算)額	306	280	267	362
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	306	280	267	362
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	-	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	-	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	検便を実施することで、従事者等が自身の健康管理を適切に実施することができた。また、検便において腸管出血性大腸菌O157等が検出された場合には、食品の衛生的な取扱いや改めて検便での陰性確認を指導する。結果として、従事者に由来する食中毒の発生を未然に防ぐことができた(令和2年度471件の検便実施。腸管出血性大腸菌O157等が検出された検便なし。)
課題	協会が実施する検便実施件数は近年減少している。 減少の理由としては、自ら外機関に検便を依頼する会員が増えてきたこと、及び協会員数(施設)の減少、及び会員の高齢化・従事者数の減少等の影響も考えられる。
今後の方向性	令和3年度から導入した検便容器の配布及び回収に郵送の利用と同様に、会員が取り組みやすい事業実施内容への改善について協会に助言を行う。